

21. 救急・集中治療

Emergency and Critical Care Medicine

【1】期 間 2019.11.6～2019.11.15

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎齊藤洋司（教授、麻酔科学）

岩下義明（教授、救急医学）

コース主任 二階哲朗（准教授、集中治療部）

担当講座：麻酔科学、集中治療部、救急医学、脳神経外科学、整形外科学、小児科学、リハビリテーション

【3】一般目標 [GIO (General Instructive Objective)]

○救急医療を理解するために、社会的なシステムと救急疾患の初期治療を学ぶ。

1. 救急医療システム（プレホスピタルケアを含む）を説明できる。
2. バイタルサインの重要性を説明でき、異常を認める場合、正常化させるプロセスを立案できる。
3. 生命に危険を及ぼす部位の代表的な病変を列挙し、その治療法を説明できる。
4. 各種ショックの分類を理解し、診断と治療を立案できる。

○集学的患者管理を理解し、その基本的治療を学ぶ。

1. 集中治療の適応について説明できる。
2. 重症患者の呼吸循環管理について説明できる。
3. ARDS の定義を述べることができ、その診断・治療を記述できる。
4. 敗血症ショックの病態を理解し治療戦略を述べることができる。
5. 重症患者における臓器障害の診断・治療について説明できる。

【4】総合評価

その週の学習効果を筆記試験で評価する。総合評価には試験成績以外に、チューターによる評価も考慮する。

【5】参考図書（◎は購入推薦図書、他は図書館にも備えています）

- ◎1. 内科救急診療指針 2016 日本内科学会編
- ◎2. 標準救急医学 第5版 日本救急医学会監修 医学書院 2014年
- ◎3. 集中治療専門医テキスト 第3版 日本集中治療医学会
4. 日本版敗血症診療ガイドライン 2016 日本集中治療医学会、日本救急医学会合同 日本版敗血症診療ガイドライン 2016 作成特別委員会
5. 新呼吸療法テキスト 3学会（日本麻酔科学会 日本呼吸器学会 日本胸部外科学会） 合同 呼吸療法認定士認定委員会一編集 2012
- ◎6. AHA 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン日本語版 AHA, Inc. 2015
7. Trauma, David V Feliciano, Kenneth L Mattox, Ernest E. Moore. McGraw-Hill 6th ed. (2007年)
8. ARDS 診療ガイドライン 2016 日本集中治療医学会、日本呼吸療法医学会、日本呼吸器学会 3学会・2委員会合同 総合医学社
9. 救急・集中治療最新ガイドライン 2018-19 岡元和文 総合医学社
10. JRC 蘇生ガイドライン 2015 日本蘇生協議会 医学書院
11. 日本版・集中治療室における成人重症患者に対する痛み・不穏・せん妄管理のための臨床ガイドライン 日本集中治療医学会 J-PAD ガイドライン作成委員会 2014

【6】局所解剖 なし